

# 参 考 資 料

## 参考資料 1 基本構想見直しの検討の流れ

基本構想の見直しに当たり、福祉のまちづくり推進会議に専門部会として「札幌市バリアフリー基本構想検討部会」を設置し、令和元年度～令和4年度にかけて以下の流れで検討を行いました。



図1 バリアフリー基本構想見直し検討の流れ

## 参考資料2 フィールドチェックの実施

### 1. 目的

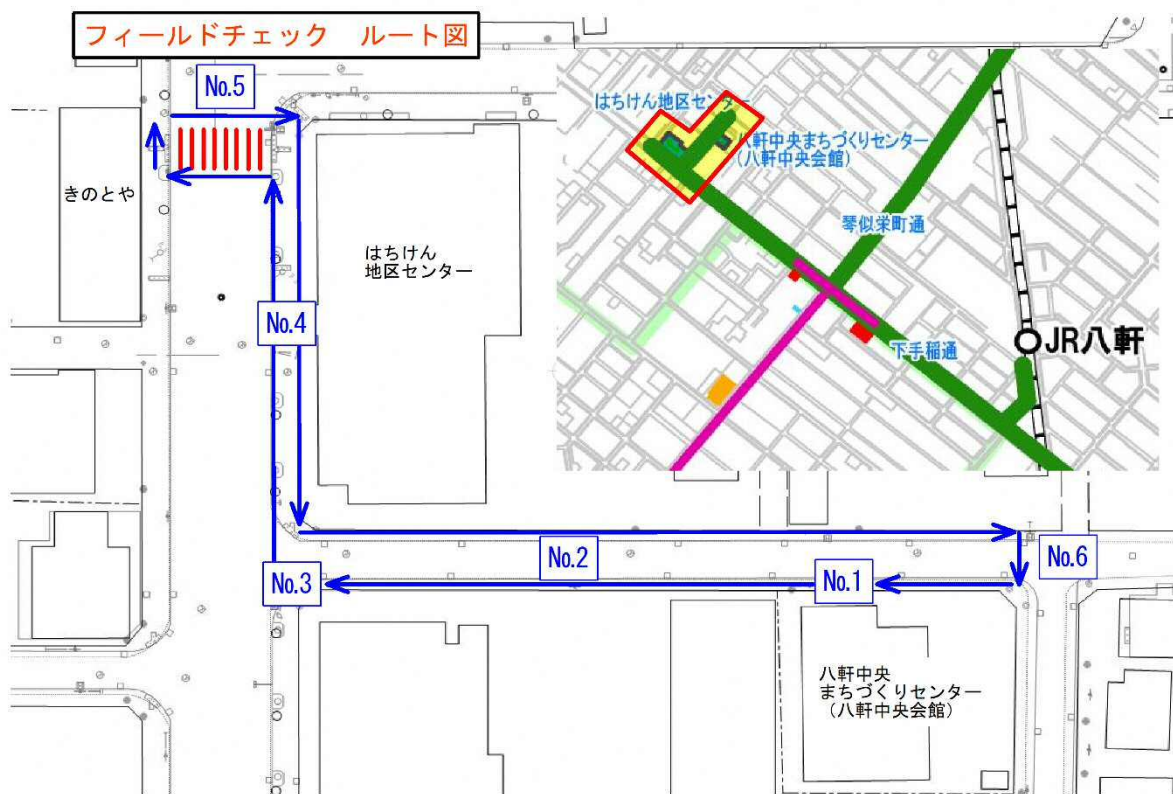
狭幅員道路や非優先道路のような、バリアフリーの全ての基準を満たす整備が難しい生活関連経路における、必要な整備基準や考え方について、委員の皆様及び障がいを持った方などからご意見をいただくことを目的として、フィールドチェック（現地調査）を実施しました。

### 2. 実施日及び調査内容

#### 【実施日】

- ・令和2年8月25日（火）9：30～11：45

#### 【実施箇所】



## 【調査項目】

### (1) 狭幅員道路に面した生活関連施設の出入口

■視察箇所：八軒中央まちづくりセンター（八軒中央会館）前

■チェックポイント：

- ・生活関連施設へ誘導するためには、どのように点字ブロックを設置するのがよいか。
- ・生活関連施設前の縁石は、どのような形状がよいか。 など。



点字ブロックの設置例

### (2) 狭幅員道路の通行

■視察箇所：八軒中央まちづくりセンター（八軒中央会館）～下手稲通

■チェックポイント：

- ・安全に通行するには、どのような整備が必要か。
- ・実際に、どの位置を通行するか。
- ・点字ブロックの設置が必要な箇所はあるか。
- ・片側（施設側）のみの整備でよいか、両側の整備が必要か。 など。



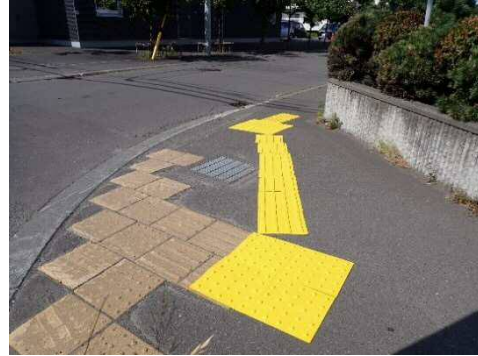
道路現況

### (3) 広幅員道路から狭幅員道路への誘導

■視察箇所：下手稲通歩道巻き込み部分

■チェックポイント：

- ・広幅員道路（下手稲通）を横断するための点字ブロックと、狭幅員道路へ誘導するための点字ブロックが混同しないか。どのような形状がよいか。
- ・排水施設や段差、電柱 など。



点字ブロックの設置例

### (4) 広幅員道路の整備（歩道部）

■視察箇所：下手稲通

■チェックポイント：

- ・整備に当たって、特に配慮が必要な事柄はあるか。
- ・道路境界まで点字ブロックが迎えに来ている施設（はちけん地区センター）へ、どのように点字ブロックを設置するのがよいか。
- ・バス停留所、植樹樹 など。



道路現況

(5) 広幅員道路の整備（横断歩道部）

■視察箇所：下手稲通

■チェックポイント：

- ・整備に当たって、特に配慮が必要な事柄はあるか。
- ・勾配、段差、信号現示など。



道路現況

(6) 非優先道路の横断

■視察箇所：狭幅員道路同士の交差点（双方向に一時停止標識なし）

■チェックポイント：

- ・普段は、非優先道路をどのように通行するか。
- ・安全に通行するには、どのような整備が必要か。



道路現況

### 3. フィールドチェック参加者

- ・検討部会委員
- ・フィールドチェック点検者
- ・介助者
- ・事務局

合計 33名

### 4. 実施結果

フィールドチェックでいただいた主な意見を以下に示します。

#### (1) 全体を通じた意見

点字ブロック	既設の点字ブロックが全体的に劣化している
舗装面の改良	路面に溝があれば補修した方がいい
横断歩道	<ul style="list-style-type: none"><li>・横断歩道の塗装が薄いところは歩きにくい</li><li>・横断歩道上には雨水枡を配置しないルールとなっている</li></ul>
施設のバリアフリー化	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設内の排水設備は細くするなどの整備が必要</li><li>・冬期間の状況を記録しておくのがよい</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・歩行者の妨げになっている植物の処理など維持管理が必要</li><li>・冬期間のバリアフリー（除雪など）は地域みなさんと協力しながら積み重ねていくしかない</li></ul>

#### (2) 狭幅員道路に面した生活関連施設の出入口

点字ブロック	施設の状況に応じて、障がい者等にとって適切な位置へ設置することが望ましい（施設中央、手すり側等）
勾配緩和	駐車場と道路の傾斜を改善して欲しい
その他	施設側の側溝の網目が大きく、白杖が落ちる危険性があるため細目にするべき



### (3) 狭幅員道路の通行

車道横断部の段差解消	歩道の段差が5cmだと車椅子での乗り上げは難しいため、3cm以下が理想であり、縁石に丸みがあると上がりやすい
勾配緩和	車道の横断勾配がきつく、上がりにくい箇所がある
舗装面の改良	歩道が凹凸していると、車椅子では通行がしづらい
歩道の有効幅員確保	電柱があるところは、有効幅員が約80cmと狭く、通行がしにくい 植栽が道路に越境し、支障になっている
その他	歩道と車道の段差を明確にする必要がある 施設側の歩道を主導線にするべき 施設の反対側の歩道には誘導しない方が良い



### (4) 広幅員道路から狭幅員道路への誘導

点字ブロック	斜め後ろへの誘導は相当訓練しないと難しい(狭幅員道路への誘導、点字ブロックの複数化による混同) 狭幅員道路へ誘導する交差点の点字ブロックは、隅切りを越えるまで設置することで進行方向が定まる
その他	歩道上の雨水桝は細目タイプなので問題ないが、可能であれば点字ブロック以外のものは設置しない方が望ましい



(5) 広幅員道路の整備（歩道部）

点字ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停の点字ブロックとの連携が必要</li> <li>・点字ブロックの劣化が目立つ</li> </ul>
段差解消	道路だけではなく、施設との接続部分も段差が生じないような配慮が必要
舗装面の改良	アスファルト舗装だと、歩道が凹凸しているのがわかりづらく、コンクリートの平板ブロックが通りやすい



(6) 広幅員道路の整備（横断歩道部）

点字ブロック	信号機の押しボタンまで点状ブロックを延長したほうが良い
舗装面の改良	横断歩道と歩道の間はある程度の段差が必要（目安になる）
勾配緩和	（横断勾配を数か所実測して） 横断勾配 4.6%は急であり、2.0%程度が望ましいことを実感した
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音響式信号機の整備が必要</li> <li>・青信号の時間が短いように感じた</li> </ul> （青信号表示時間：23秒 車道幅員：13.0m）





## (7) 非優先道路の横断

点字ブロック	点字ブロックでの誘導は難しいかもしれないが、何かしらの整備が必要である
車道横断部の段差解消	横断歩道がなくても、段差解消は必要
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭い道路はバリアフリー整備による対応よりも、運転手への教育（交通教育）による配慮が必要</li> <li>信号や横断歩道、一時停止標識のない交差点は、案内や誘導サインの強化が必要</li> <li>回り道は迷子になる可能性があるため、出来る限り最短距離でアクセスできるバリアフリールートが欲しい</li> </ul>



## 5. フィールドチェックを踏まえた整備が難しい路線の取り扱い

フィールドチェックでいただいたご意見を踏まえ、課題のある生活関連経路のうち、適切な代替経路がない箇所の取り扱いについて検討し、以下の通り整備の方向性を決定しました。

### (1) 狭幅員道路における整備イメージ

項目	整備基準の達成		狭幅員道路において実施可能な整備内容
	広幅員道路	狭幅員道路	
①歩道の有効幅員確保	○	×※	—
②勾配緩和	○	×※	—
③横断部の段差解消	○	○	横断部の段差解消
④舗装面の改良	○	○	舗装面の凹凸が多い場合は舗装面を改良
⑤点字ブロック	○	△	施設前、交差点の車道横断部、広幅員道路から狭幅員道路への誘導部に点字ブロックを設置

※将来的に道路拡幅や大規模な道路改良の機会があれば達成を目指し検討

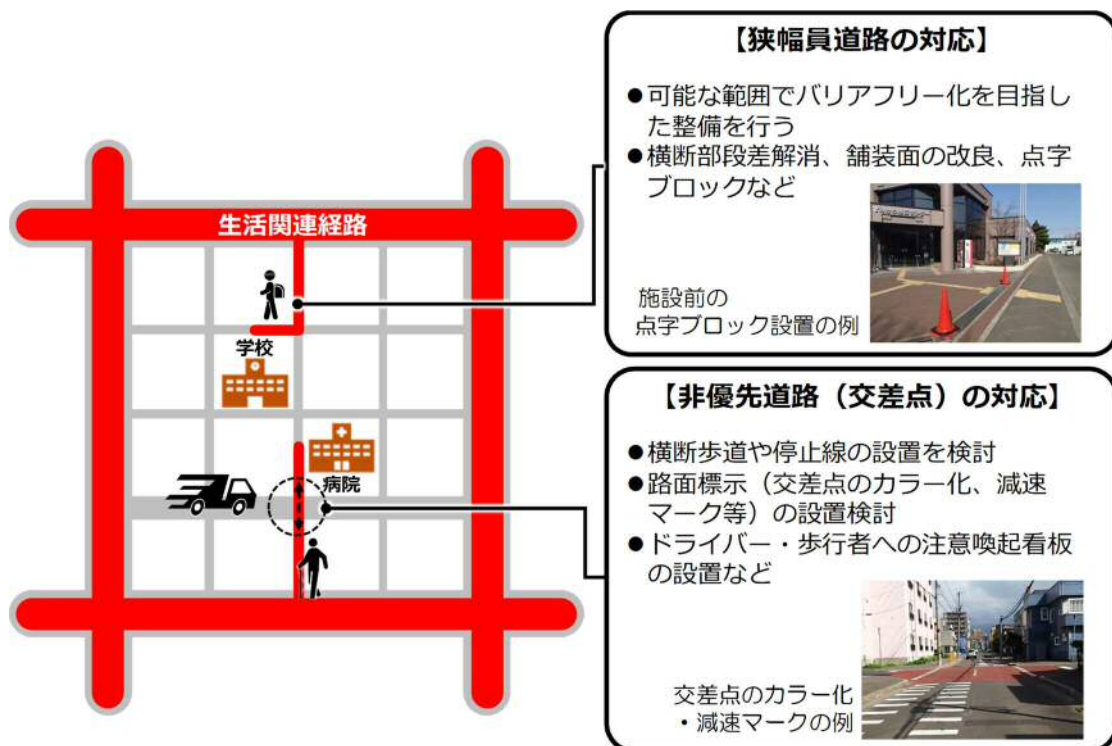
## (2) 非優先道路における対応

### 【現状の対応】

- 生活関連経路では障がいをお持ちの方など様々な方が通行することを考慮し、優先道路による誘導を基本としている。
- やむを得ず、非優先道路を生活関連経路とする場合であっても、交差点においては、非優先道路の横断を誘導するような整備（点字ブロックの設置）はしていない。
- 道路形状や交通量を考慮した交通規制を行っているため、狭幅員道路同士の交差点に新規の横断歩道や停止線などを設置することは、容易ではない。

### 【今後の非優先道路における整備優先順位】

- ①横断歩道や停止線の設置を検討
- ②ドライバー・歩行者への注意喚起を検討
  - ⇒路面表示の設置検討（交差点のカラー化、減速マーク等）
  - ⇒注意喚起看板の設置検討



狭幅員道路・非優先道路のイメージ図

### 参考資料3 バリアフリー状況に関するアンケート調査

#### 1. 目的

障がいを持つ市民の意向把握のため、障がい者団体に属する市民を対象に、移動面に関するバリアフリー化の評価や今後の関連施策の方向性等を平成30年に調査しました。

#### 2. 調査対象

	対象団体	配布数	回収数	回収率	有効回答	
障がい者	まちづくりサポーター	12	9	75%	9	
	身体障害者福祉協会 －札幌市肢体障害者協会 －札幌市中途失聴・難聴者協会 －札幌市視覚障害者福祉協会 －日本オストミー協会札幌支部	220	112	51%	112	
	聴覚障害者協会	50	40	80%	40	
	札幌市精神障害者家族連合会	50	31	62%	31	
	札幌市手をつなぐ育成会	63	63	100%	62	
	北海道難病連	65	10	15%	10	
	高齢者	札幌地区退職者連合	50	47	94%	44
		札幌市老人クラブ連合会	50	49	98%	48
子育て世代	子育てサロン利用者(札幌市子育て支援課)	90	87	96%	87	
計		650	438	67.4%	433	

#### 3. 調査結果

##### (1) 移動の状態

【質問】あなたが普段、外で移動するときの状況について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

【選択肢】 1 車いすを使用    2 杖を使用    3 白杖を使用    4 介助者が同行  
5 ベビーカーを使用    6 その他(                    )

移動の状態では該当する選択肢のなかった307人(約70%)が多数で、一部の方は欄外に「補装具を使用」と書いてくださるなど、選択肢に考慮しきれないものがありました。他はベビーカー使用者が59人(13%)、杖利用者が37人(8%)となっています。

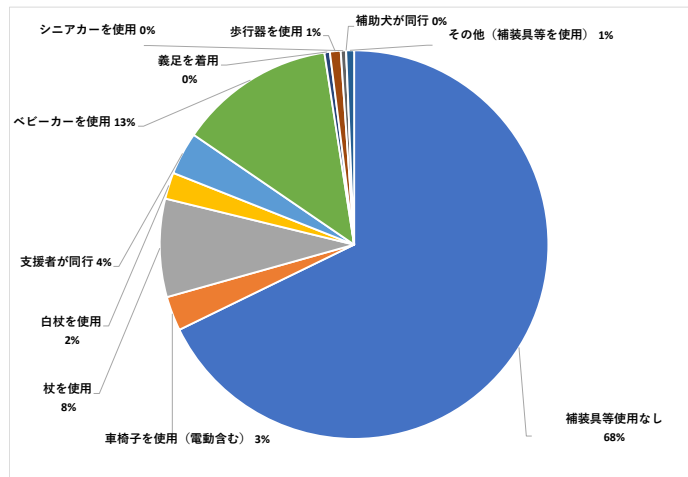


図2 移動状態の割合

## (2) 交通機関施設の利便性向上

【質問】あなたは、この10年間で、「交通機関の施設」がそれぞれどのくらい利用しやすくなったと思いますか。それぞれ、当てはまるもの1つに○をつけてください。

【選択肢】 1 とても利用しやすくなった 2 利用しやすくなった  
3 利用しやすくなっていない 4 わからない

地下鉄駅とJR駅では「利用しやすくなった」と感じている人は過半数を超えています。バスターミナルは他と比較して「利用しやすくなっていない」の割合が高くなっています。

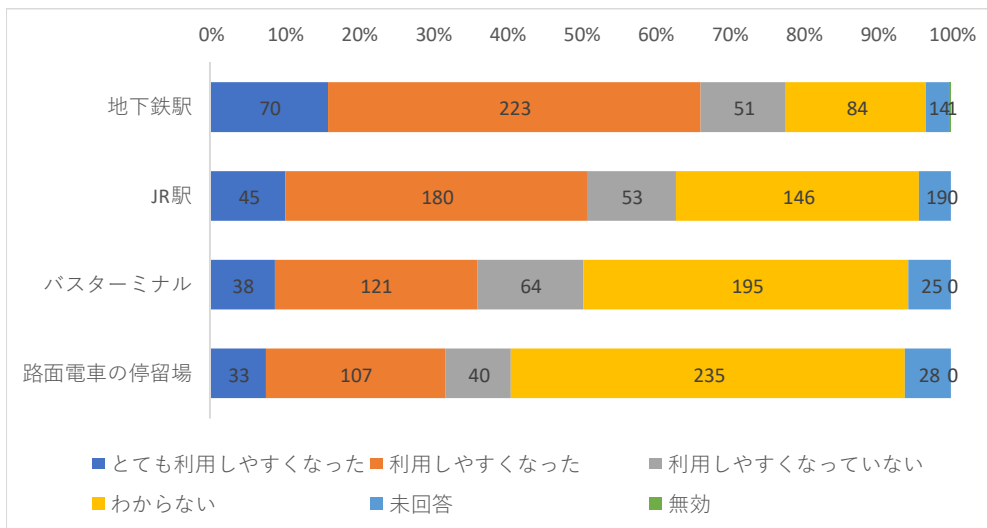


図3 利便性向上割合（交通機関の施設）

## (3) 利用頻度（交通機関など移動手段）

【質問】次の移動手段について、どのくらい利用されますか。それぞれ、当てはまるもの1つに○をつけてください。

<移動手段：地下鉄/JR/バス/路面電車/タクシー/自家用車/自転車/徒歩>

【選択肢】 1 週に1日以上 2 月に1日以上 3 年に1日以上  
4 ほとんど利用しない

週1回以上利用する移動手段は徒歩が最も多く約70%、次いで地下鉄、自家用車が約50%となっています。

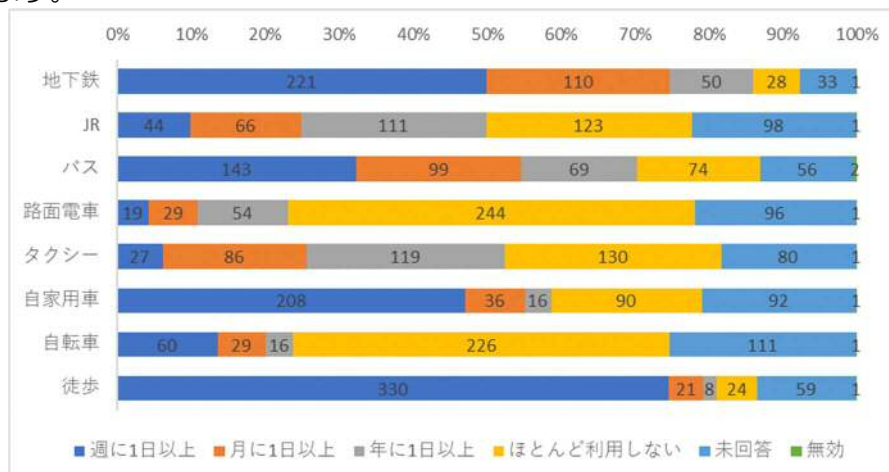


図4 利用頻度割合（移動手段）

#### (4) 利用頻度（施設）

【質問】 次の施設について、どのくらい利用されますか。それぞれ、当てはまるもの1つに○をつけてください。

＜施設：官公庁施設/区民センター等/百貨店/スーパーマーケット/コンビニ/飲食店/老人ホーム等/体育館やプール/郵便局/病院や診療所/ホテルや旅館/映画館や劇場/公園＞

【選択肢】 1 週に1日以上    2 月に1日以上    3 年に1日以上  
4 ほとんど利用しない

過半数が週1回以上利用する施設としてはスーパーマーケット、コンビニが多く、月1回以上では飲食店や郵便局、病院も加わっています。選択肢になかったものとして、子育てサロン、福祉センター等、町内会館が自由記載で回答がありました。

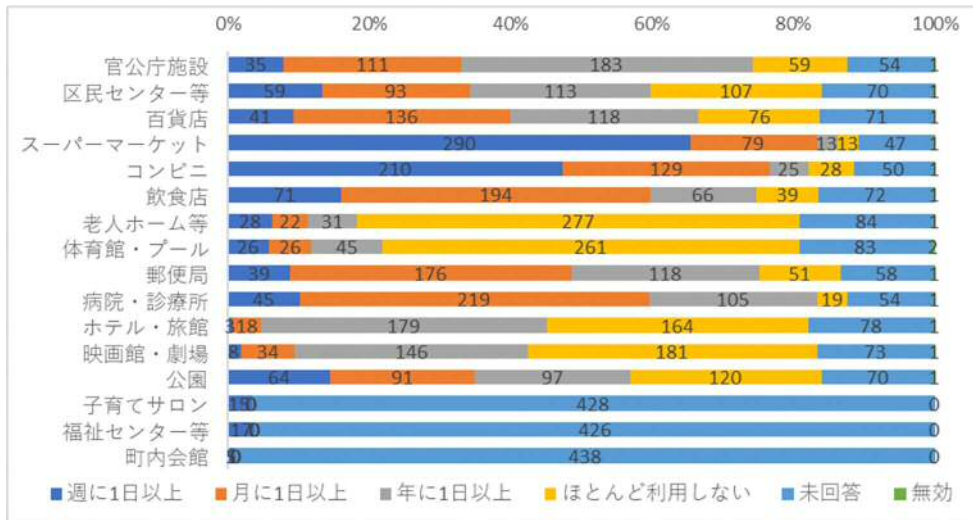


図5 利用頻度割合（施設）

#### (5) バリアフリー化の要望（交通機関等移動手段）

【質問】 今後、より一層のバリアフリー化が望まれる交通機関の施設・車両や歩行空間について、主なものを3つまで選んで○をつけてください。

【選択肢】 道路（歩道）/地下街・地下歩行空間/地下鉄駅/地下鉄車両/JR駅/JR車両/路面電車の停留場/路面電車の車両/バスターミナル/バス/タクシー

道路（歩道）200人超、地下鉄駅約200人、バス（車両）約150人から改善要望が挙げられています。

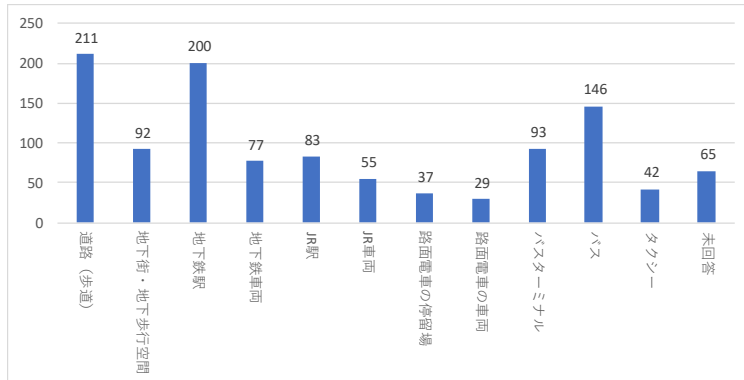


図6 要望総数（移動手段）

【自由意見（地下鉄駅について）：8件】

大きな（2人乗りの）ベビーカーが入るエレベーターがあると嬉しい。（子育てサロン利用者）

【自由意見（バスターミナルについて）：5件】

札幌駅のバスターミナルの通路が狭い。エスタにベビーカーで行けない。（子育てサロン利用者）

（6）バリアフリー化の要望（施設）

【質問】 今後、より一層のバリアフリー化が望まれる施設について、主なものを3つまで選んで○をつけてください。

【選択肢】 市役所や区役所/区民センター等/百貨店/スーパーマーケット/コンビニエンスストア/飲食店/老人ホーム等/体育館やプール/郵便局/病院や診療所/ホテルや旅館/映画館や劇場/公園/その他（ ）

スーパーマーケットで約140人、病院で約110人、市役所・区役所で約100人から改善要望が挙げられています。

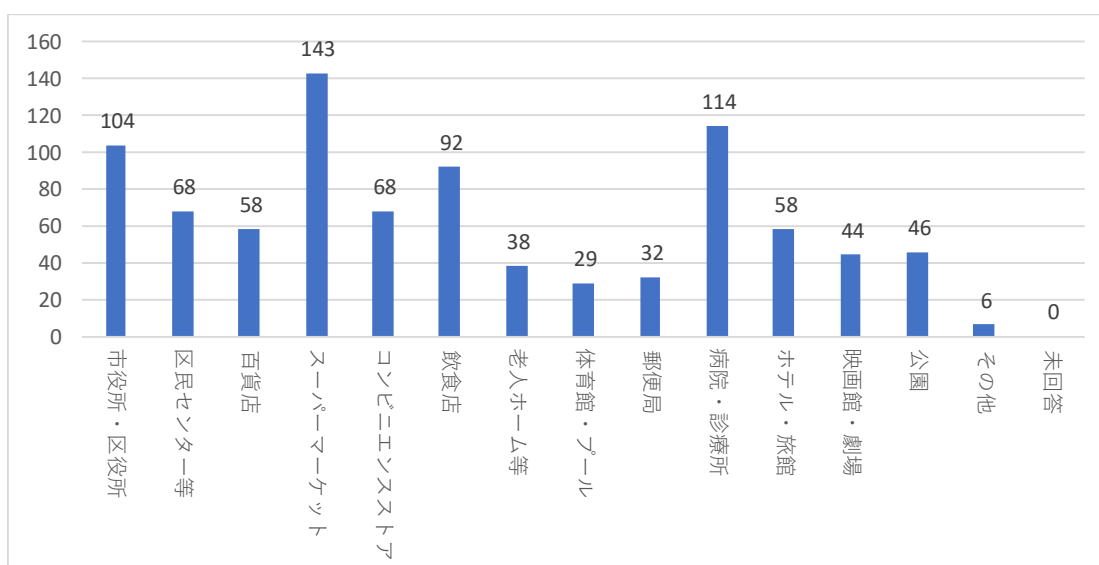


図7 要望総数（施設）

【自由意見（全般、複数）：17件】

施設や公園にもわかりやすくしたり、振り仮名を見やすくして欲しいです。（まちづくりサポーター）

車で利用しやすいように駐車場のスペースを増やして欲しい。（子育てサロン利用者）

スーパーマーケット、郵便局、病院など手話の出来るスタッフを増やして欲しい。（身体障害者福祉協会）

調査で得られた意見を参考として、多くの市民が安全・安心に外出できるよう、今後も継続的なバリアフリー化を進めていきます。

## 参考資料4 第11期福祉のまちづくり推進会議及び

### 札幌市バリアフリー基本構想検討部会名簿

第11期福祉のまちづくり推進会議委員			札幌市バリアフリー基本構想 検討部会委員（兼任） 部会長は◎ 委員は○
	氏名	出身団体	
	浅香 博文	札幌市身体障害者福祉協会	
	池田 桂子	札幌市精神障害者家族連合会	
	石田 眞二	北海道科学大学	◎
◎	石橋 達勇	北海学園大学	
	上野 文	公募委員	○
	沖村 圭子	公募委員	
	越智 章	公募委員	○
	風間 忠勝	札幌地区退職者連合	○
	木下 祥子	札幌市肢体障害者協会	○
	小島 佳代子	札幌市手をつなぐ育成会	
	小林 恒男	札幌市老人クラブ連合会	
	近藤 久江	札幌市視覚障害者福祉協会	
	斉藤 慎也	札幌青年会議所	
	中村 裕子 (山本 彩)	札幌学院大学	○
	長田 芳幸	公募委員	
	中ノ殿 恭子	札幌ホテル旅館協同組合	○
	野川 裕次	札幌地区バス協会	○
○	橋本 菊次郎	北海道医療大学	○
	畑中 雅嗣 (照井 幸一)	札幌ハイヤー協会	○
	東 道尾	北海道建築士会札幌支部	
	菱谷 雅之 (瀬川 誠)	札幌市社会福祉協議会	○
	森岡 三恵子	札幌市ボランティア連絡協議会	
	山口 久枝	公募委員	○

◎は会長、○は副会長を示す（敬称略、五十音順）

（ ）は前任委員

## 参考資料5 札幌市バリアフリー基本構想検討部会外部委員名簿

氏名	出身団体
朝野 純一 (小野 大治)	北海道運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課長
西崎 涉 (濱田 利明)	北海道運輸局 札幌運輸支局 首席運輸企画専門官
笠松 周悟 (西山 泰幸)	北海道開発局 札幌開発建設部 道路計画課長
三上 慶三 (小林 英一)	北海道警察本部 交通部 交通規制課 調査官
野村 俊明 (芳賀 善浩)	北海道旅客鉄道株式会社 経営企画本部 専任部長

( ) は前任委員



## 参考資料6 パブリックコメントの実施

「札幌市バリアフリー基本構想 2022(案)」について、パブリックコメント手続きにより、市民の皆様からご意見を募集しました。

### 1. パブリックコメントの概要

#### (1) 意見募集期間

令和4年(2022年)4月18日(月)～令和4年(2022年)5月17日(火)

#### (2) 意見募集方法

郵送、FAX、持参、電子メール、ホームページ上の意見募集フォーム

#### (3) 資料の配布・閲覧場所

- ・札幌市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー
- ・札幌市役所本庁舎5階 まちづくり政策局総合交通計画部交通計画課
- ・各区役所 市民部総務企画課広聴係
- ・各まちづくりセンター
- ・札幌市公式ホームページ

#### (4) 意見募集の周知方法

- ・札幌市公式ホームページ
- ・広報さっぽろ4月号にお知らせを掲載

### 2. パブリックコメントの内訳

#### (1) 意見提出者数、意見数

意見提出者数：23人

意見数：73件

#### (2) 提出方法内訳

提出方法	郵送	FAX	持参	電子メール	意見フォーム	合計
提出者数	3人	2人	2人	2人	14人	23人

#### (3) 年代別内訳

年齢	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～	不明	合計
提出者数	0人	1人	0人	8人	7人	4人	2人	1人	23人

#### (4) 意見内訳

意見内容	件数
1 理念と基本方針について	1 件
2 重点整備地区について	7 件
3 旅客施設の整備について	11 件
4 車両等の整備について	4 件
5 道路・信号機・路外駐車場・都市公園・建築物の整備について	12 件
6 意見聴取について	3 件
7 年間を通じた円滑な移動経路の確保について	9 件
8 ソフト施策によるバリアフリーの充実について	14 件
9 ユニバーサル社会の実現について	2 件
10 冬季オリンピック・パラリンピック招致との連携について	4 件
11 その他の意見	6 件
合 計	73 件

### 3. 意見に基づく変更点

市民の皆様から頂いたご意見については、札幌市ホームページにご意見の概要と札幌市の考え方を掲載し、以下の2項目を修正したほか、図表の更新等を行いました。

意見の概要	変更点
バリアフリースキルとは何のことか分からない。意識を育てる研修をしてほしい。	基本構想案 114 ページに記載の「バリアフリースキル向上」とは、障がいなどのそれぞれの特性に応じて配慮すべきことへの理解や介助技術の習得のことであり、記載を「 <u>障がいなどの特性に応じて配慮すべきことへの理解や介助技術の習得</u> 」に修正します。 地下鉄職員を対象としたバリアフリー研修において、上記の技術習得・向上に努めており、障がい特性に応じた多様なニーズに対応するための駅業務マニュアルの整備等を行い、心のバリアフリーの周知徹底を図っています。
「体が不自由な人たちに対する差別や偏見など」という文言は、意識の改革を目指せば必要ないのではないかと思う。	基本構想案のP119 図5-1 で心のバリアフリーの具体的な内容として「体が不自由な人たちに対する差別や偏見など目に見えないバリアの解消」を挙げていますが、ご意見を踏まえ、「 <u>障がいの有無、年齢、性別にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重する</u> 」を追加し、「 <u>私たちの意識の中にある偏見や無理解といった心のバリアを解消して、自分自身と異なる人の価値を認める</u> 」に修正します。

この他のご意見の概要と札幌市の考え方は、札幌市ホームページに掲載しています。

「健康・福祉・子育て」>「福祉・介護」>「福祉のまちづくり（バリアフリー）」>「札幌市バリアフリー基本構想」>「札幌市バリアフリー基本構想のスパイラルアップ」

URL : <https://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/barrier/basic/spiral.html>



編集・発行

札幌市 まちづくり政策局 総合交通部 交通計画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

電話 011-211-2275 / FAX 011-218-5514

ホームページ <https://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/barrier/basic/index.html>